

国内初となるレベル4自動運転移動サービスを開始

～地域社会の移動課題解決を目指して～

ヤマハ発動機株式会社、産業技術総合研究所（以下、産総研）、三菱電機株式会社（以下、三菱電機）、株式会社ソリトンシステムズ（以下、ソリトン）により開発を行った自動運転車が、5月21日に、永平寺町（福井県）で国内初のレベル4自動運転移動サービスを開始しました。また、これに先立ち同日、サービス開始の式典が開催されました。

今回の開発では、産総研が幹事機関となり、永平寺町（福井県）にて、“レベル4自動運転移動サービス”実現を目指した自動運転車の実証実験を進めてきました。当社は車両提供・車両制御に関連する各種技術・管制システムを、三菱電機が各種センサーを含む車両制御システムを、ソリトンが遠隔監視システムとその通信を担当しています。車両は、道路に埋設された電磁誘導線を読み取るとともに、各種センサーなどで周囲の環境を認識して自動運行し、オペレーターによって遠隔監視されます。

今回のサービスは、公道における特定条件範囲内で、「永平寺参ろ一ど（全長約 8km）」内の“荒谷～志比区間（約 2km）”を走行します。

今回の取り組みは、経済産業省と国土交通省が連携し、先進モビリティサービスの実現・普及に向けて、研究開発、実証実験、社会実装まで一貫した取り組みを行う「自動運転レベル4等先進モビリティサービス研究開発・社会実装プロジェクト（RoAD to the L4）」の一環です。

当社は、2022年2月発表の中期経営計画（2022～2024年）において、新規事業と成長事業を戦略事業領域と位置づけ、将来のコア事業に育てるための経営資源を積極的に配分するポートフォリオマネジメントを進めています。新規事業のひとつとして、公共交通機関にアクセスできない地域の移動課題の解決を目指しています。



サービス開始記念式典の様子



今回サービスで使用する自動運転車